

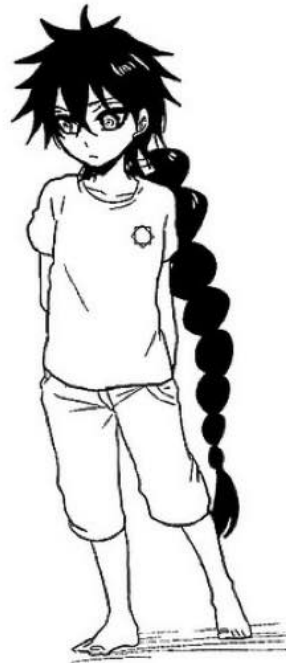
R-18



SELFISH!

シンドバッド×ジュダル
ジュダル女装本

ジュダルのことは
幼いころから
知っている



幼馴染と言うには
歳が離れすぎていたが
ジュダルは俺に
よく懐いてくれて
歳の離れた弟みたいで
自分なりに結構可愛がって
やったつもりだ

コイツも大きく
なったものだなあ
なんて



ジュダルの成長を
どこか父親みたいな
気持ちをもって
見ていた俺は



いつしか
違った感情を
ジュダルに対して
抱いていることに
気付いた



その当時
俺はジュダルに
その事を
伝えるつもりはなかった

アイツは
まだガキだったからだ



ジュダルがもっと
大人になってくれたら
その時に

そう思っているうちに
俺は地元を離れる
ことになり
ジュダルは
俺が知らないうちに
どこかへ
居なくなっていた

もちろん
会えるものなら
また会いたかったが
縁があればいずれ
また会えるだろう
人とはそういうものだ

そうしてジュダルは
俺の中で
消化しきれない
想いを残したまま
思い出になつた





筈だった



部下に連れられて
入った風俗店



俺とジユダルは
思わぬ再会を
果たしたのだった





んだよバカ殿
また来たのかよ!

ケッ!

アルのサロン



お前ほんつとに
ヒマなんだな...

ಽ

俺の思い出は
今何故か女装して
イカガワシイ店で
働いている

お前来たのはいいけど
営業妨害すんなよな

お前が睨むから
さっきの客
帰っちゃっただろ！

ハイハイ
悪かったな

その分俺が
指名して
やってるんだから
いいだろう

そーだけど！
お前のせいで
客やだもの
俺

……
前も聞いたと
思うが

はあ〜



だが俺は
ジユダルに店を
辞めてほしいと
思っている

アイツは
辞めないと言っ

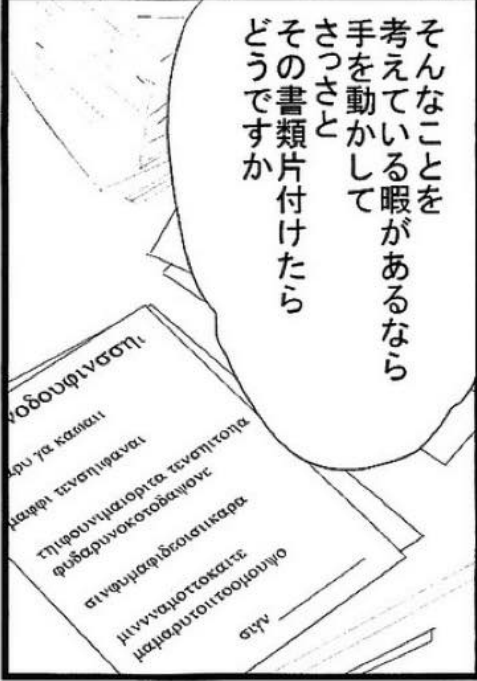
そいで



何か良い
案はないかね
ジャーファル
くん

知りませんよ！

そんなことを
考えている暇があるなら
手を動かして
さっさと
その書類片付けたら
どうですか



何を
考へんじやけん
田んぼは...

あんまり
無駄口叩いていると
今日
ジユダルの所に
行けなくなりますよ

んー...
それは困るなあ

変な策練つてないで
正直に
「好きだ」こいで
働いていて欲しくない
から辞めてくれ
と言つてしまつては
いかがですか？

それは
もう
実践済みなんだが...

うーん...





となつた
からな…



なんだよ
お前も抜いて欲しく
なつたのか？

そんな口実
作らなくても
相手してやるって

お前にだったら特別
サービスしてやるぜ？

ドキ
やるぞ
サービス



しかし…
本当になんとか
ならないものか…



しかし
意外ですね
あなたが誰かに
そんな執着するなんて

ハハ…
自分でも
そう思うよ

↑あんなの
しかも

なあジャーファル
あの店の経営権が
いくらくらいで
買えるか
調べてきてくれないか

却下です

職権乱用です。
業務外の仕事はしません

アル♡サーマ

お！
バカ殿
また来たのかよ

マメな
奴だな
お前

てかさあ
こんなしよっちゅう
来てて
金とか大丈夫なのか？

ああ！

心配してくれて
いるのか？
ありがとう
ジユダル

アホか

折角だが心配は無用だ
だからお前は
安心して仕事を
辞めてもいいんだぞ！

ウツゼエなあ…
またそのハナシかよ

やめねーっ
つつてんだろー
バカ殿が！

てかさあ…

ハナシが！



ジユダルちゃん！
お客さん
待ってるよー！

わかってるよ
うるっせえな！
ちよつと待ってるって
言っとけ！



お前と遊んで
らんねーの
さっさと帰るか
他の奴と遊んでろよ
オシグト
だからな



今日、俺
閉店時間まで
売約済みだから



んじゃ
そういってよ...



こいつの
指名と予約を
取り消せ！

はあ!?

可能なら
金はいくらでも
払ってやる

はああ!?

あつハイ
ちよつと
聞いてきます

おい
シンドバッド
にしろよ!

大体いくらでもって
お前そんなに
金持ってるのかよ!

金の心配は不要
だと言った
だろう!

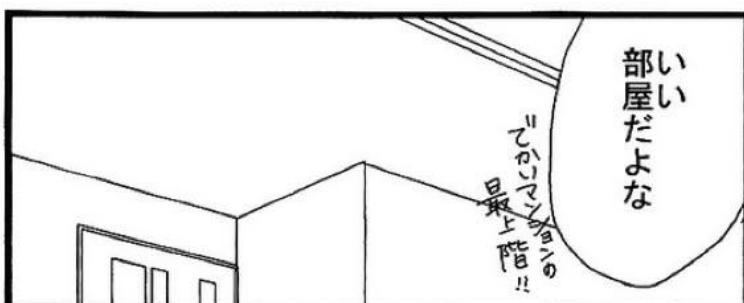
金なら
余るほど
持っている!

信用しなさいの
ハキリだ!!

INTERNATIONAL
Sindoria C
1234 5678 20
Sinhad









俺の仕事は
こんなカツコして
豚野郎のお相手
だしな〜

それに比べて？

こんだけ成功してりや
あんな仕事してる奴が
可哀相にもなるよな！



俺とお前じゃ
もう住む世界が
違うんだよ



だからさ

俺の事なんか
気にしてんじゃ
ねーよ

同情とかそういう
のもいらぬし
金持ちの遊びに
付き合っ
らんねーの！





誰が同情なんて
するか

俺はただ
お前が俺以外の
奴に触れたり
触れられたり
気に入らない
だけだ



?
なんで?



は...?



前にも言ったと
思うが!



俺がお前を
好きだからだ！

スキ？！

ああそうだ！

好きな奴が
そんなことを
しているのに
黙っていられるか



別にお前の
仕事を
バカにしているとか
同情しているとか
そういう
ことではない！



お前
俺にあんま
触んないじゃん！

俺はお前の
客になりたい訳では
ないからな！



でも！

今度は
なんだ

それに俺

でも
お前以外はみんな
好きだっていいながら
べたべた触ってきたぞ！

他の奴の
ことは
どうでもいい！

おっぱい
ないし！

一体
なんの話だ？

だってお前の
なんか…部下みたいな
チャライのが
言ってたぞ！
お前はおっぱい
大好きだって！

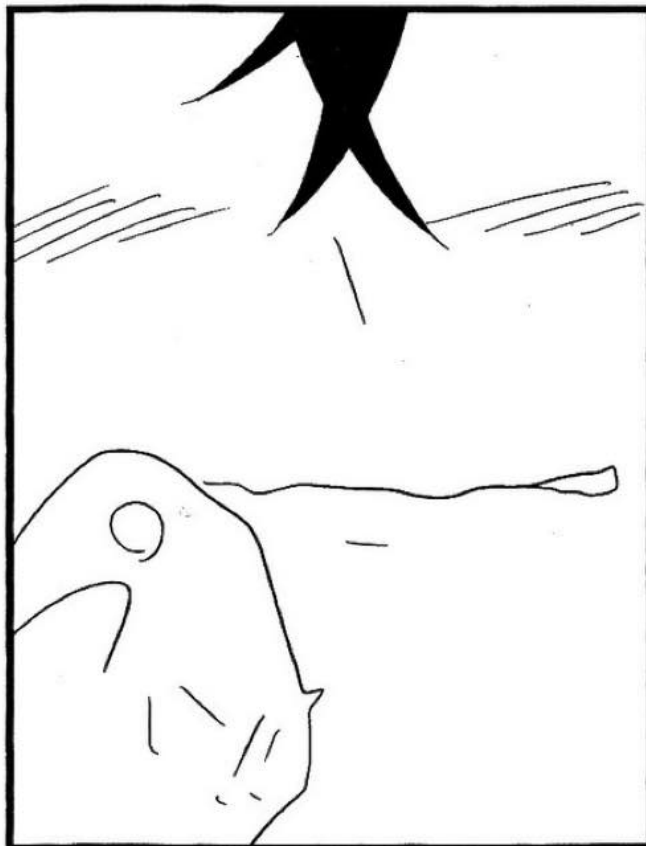
アイツの言うことも
どうでもいいから
聞かなくていい！

でもこの前
女の乳ガン見
してたじゃん！

女性の胸は
癒しだ！
お前だって
見るだろう

……

それに！





どうなんだ
ジュダル

で？



愛してやるって……
超ゴーン！

王様おめえ

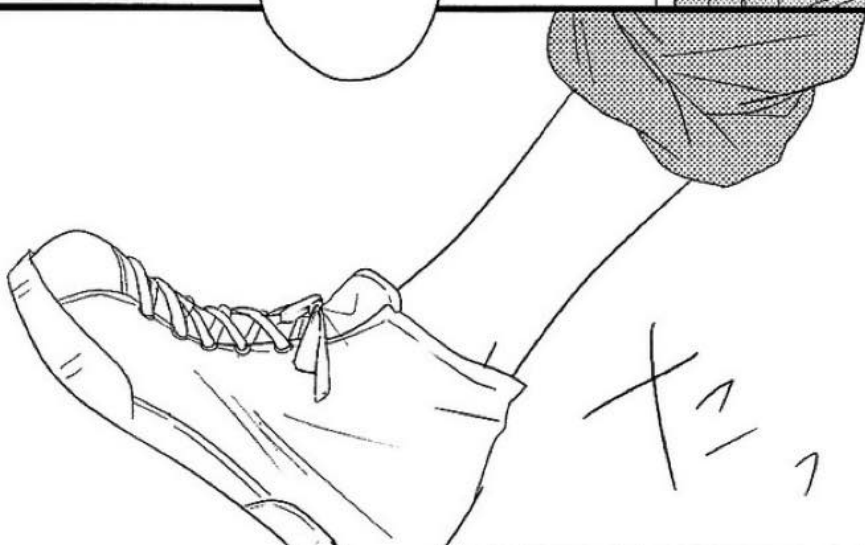
俺は欲しいもの
に對して
しつこいんだ



仕事辞めて
俺と一緒に
なるか？











結果オーライ
だろ？

お前の
思い通りになったのに
なんか不満か？



確かにそうだが…
なんか腑に
落ちんな…！

気にすんなって！
これから
世話んなるぜ



どうせ
家の事何にも
バインくんから
しろよ…

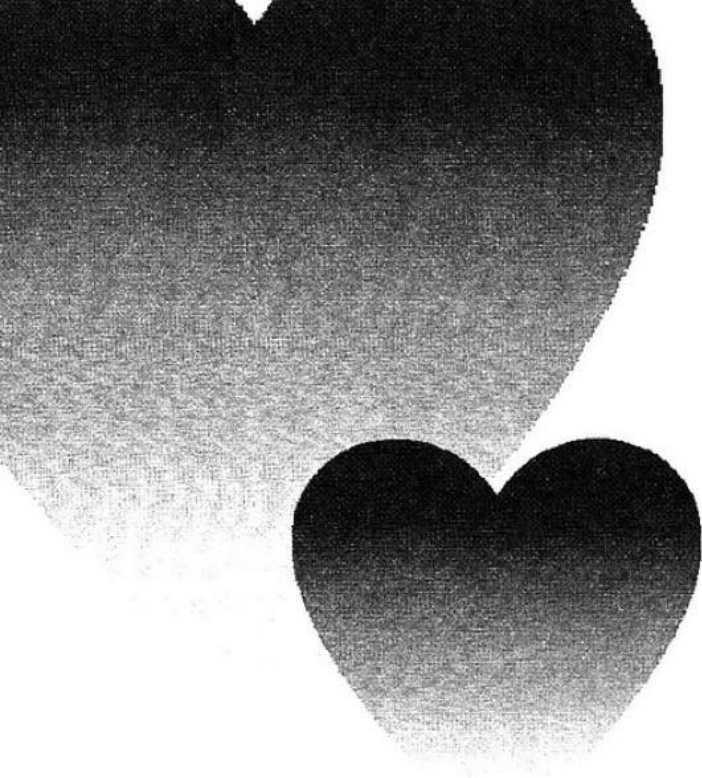
次は
キャバクラでも
行くか！

聞かなかった
事にする

所で
この紙袋はなんだ

色んなプレイの
道具とか
衣装とか♡
色々楽しめる
ようにと思つて！

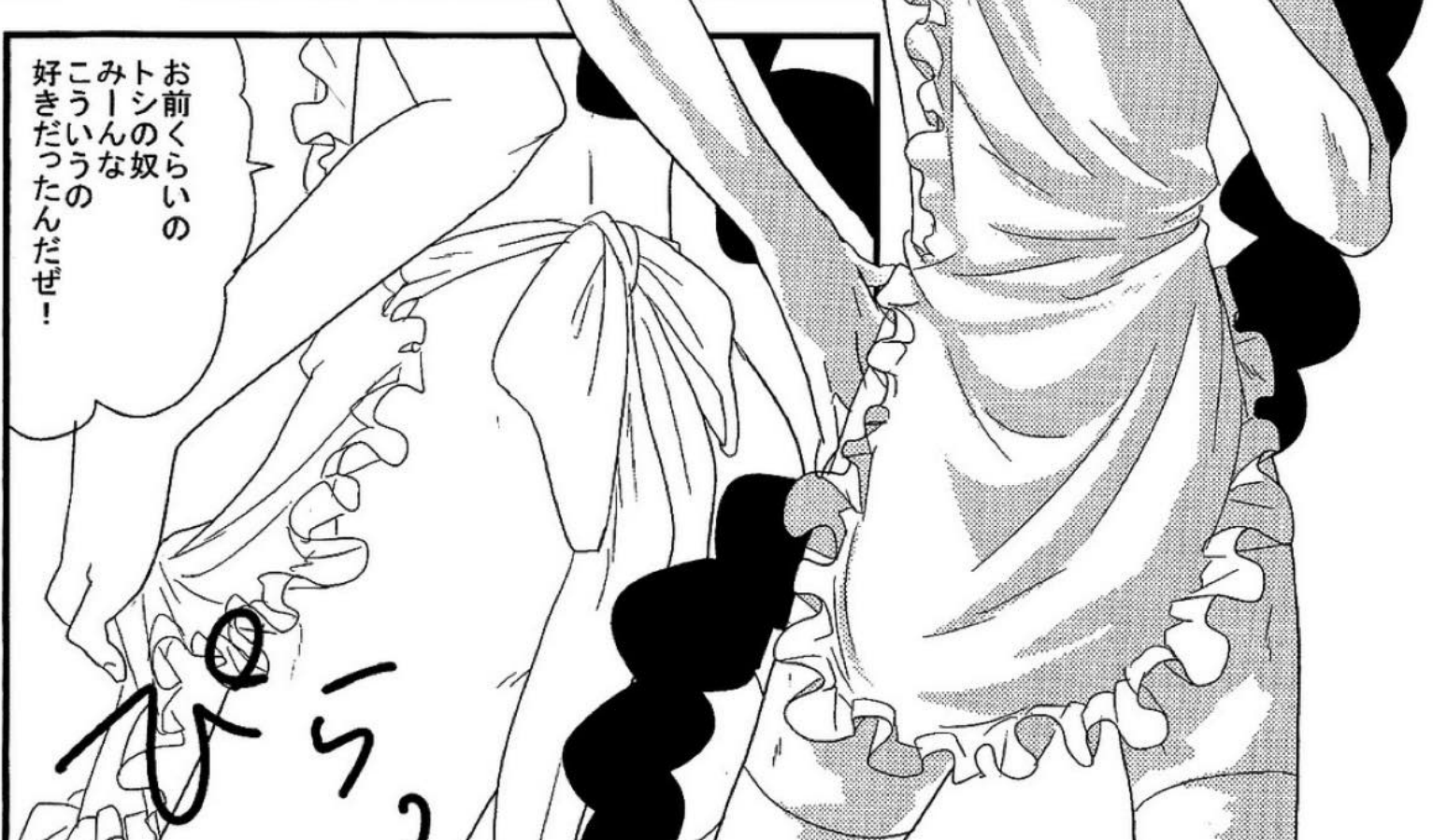
…ああそつ…



次のページから
その後のシンジュ漫画(R-18)です。

もちろんこの本のテーマに沿って女装です(*´▽`*)

女装おいしいです





俺は別にそういうプレイが
好きであの店に
通ってた訳じゃないぞ



わかってんよ！
つれねーな



どう？興奮する？
ご希望なら色々
サービスしちゃうぜ♥



ちよつとやってみた
だけだろ！

なあなああシンドバッド
お前なんでまだ
俺に手出さないわけ？

俺もう
お前のなんだぜ





んせ……!

ハッ……



嫌な訳じゃ
ないだらう

は……



それより……
ジュダル
手が止まってるぞ



お前……

やってんだろ
おっさんは
黙ってる



もうちょっと
かわいいこと
言えないのか?



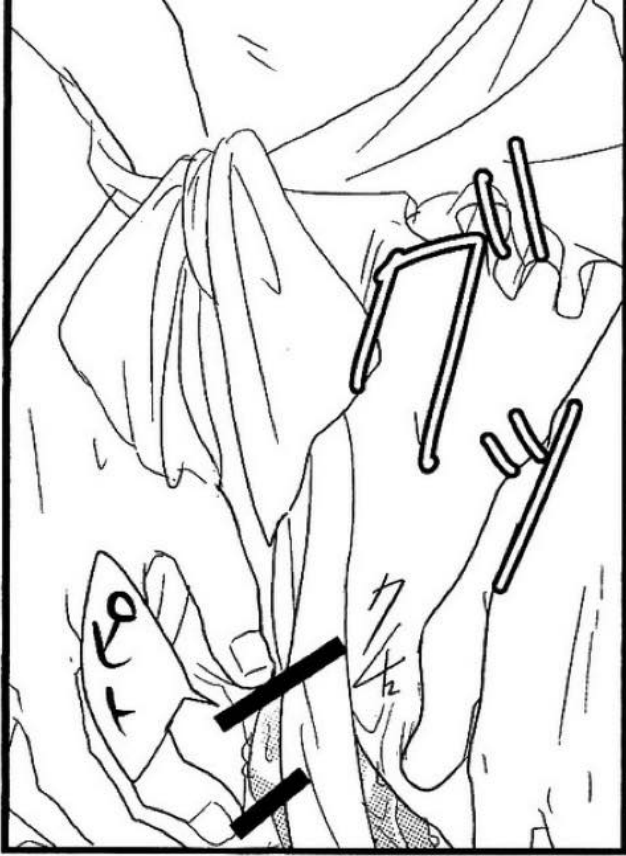
ああ……

ま

ガク

ク

ク





お前
もしかして

無理むりムリむり!!
抜いて!

痛えムリ



ぐわんぐわんぐわん!!!

え



待て!!
ちよつと待て!!

んだよ!
待ってらんねーよ
イテーンだよ!
早く抜けて
言ってるんだろ!



ちよつ



お前
もしかして
経験ないのか



ねーよ！
あの店
本番は
ダメだったし



指とか
小さい
玩具くらい
までなら…

おもっ…！！

おもろい！！

経験がないなら
なぜそう
言わない

どうして
そんなこと…！！

だって
指だったら
散々突っ込まれてるから
平気かと思っ
んだよお…

怒鳴るなよ



はあ…
全く…

初めてと知ってれば
もうすこし
優しくしてやったのに





ほら！
ベッド行くぞ

セックス

わ…

ストツ



良いかジユダル
そういう
大事なことは
先に言いなさい

はじめてなら
もつと

べたべたに
甘やかして
やらないとな

END

本編蛇足の
おまけ

そういうえば

また来るって
言ってたけど

来て
どうすんだろ

来るかな

いつ来るんだろ

来ないかも

俺が居るの
嫌そうだったし

こんなんしてんの
見て俺の事
嫌になったかも

俺は会えて
嬉しかったけど

もう俺には
会いたくないかも

なんか
怒ってたし

来れば
いいのに

はやく

はやく来いよ

ばーか

はやく







なんだ

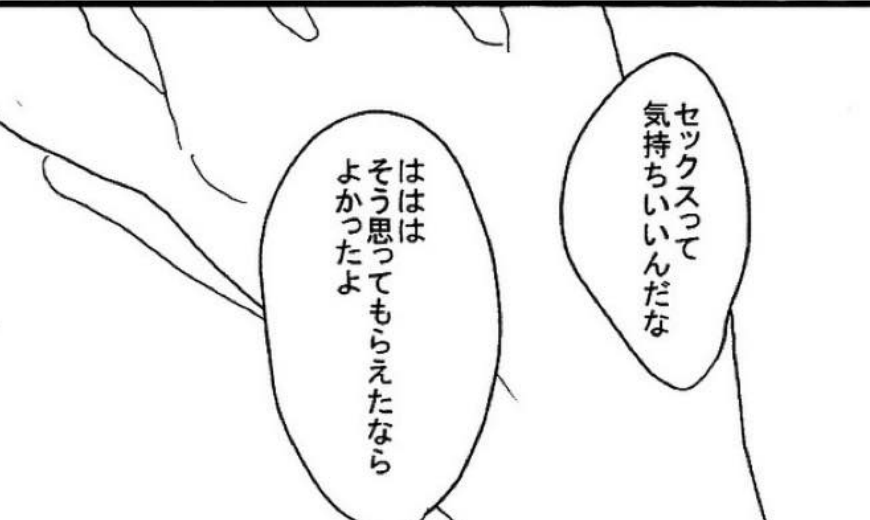


なあシンドバッド

ん



うん：
お前に色々
キモチイイは



セックスって
気持ちいいんだな

ははは
そう思ってもらえたなら
よかったよ



お前の手は

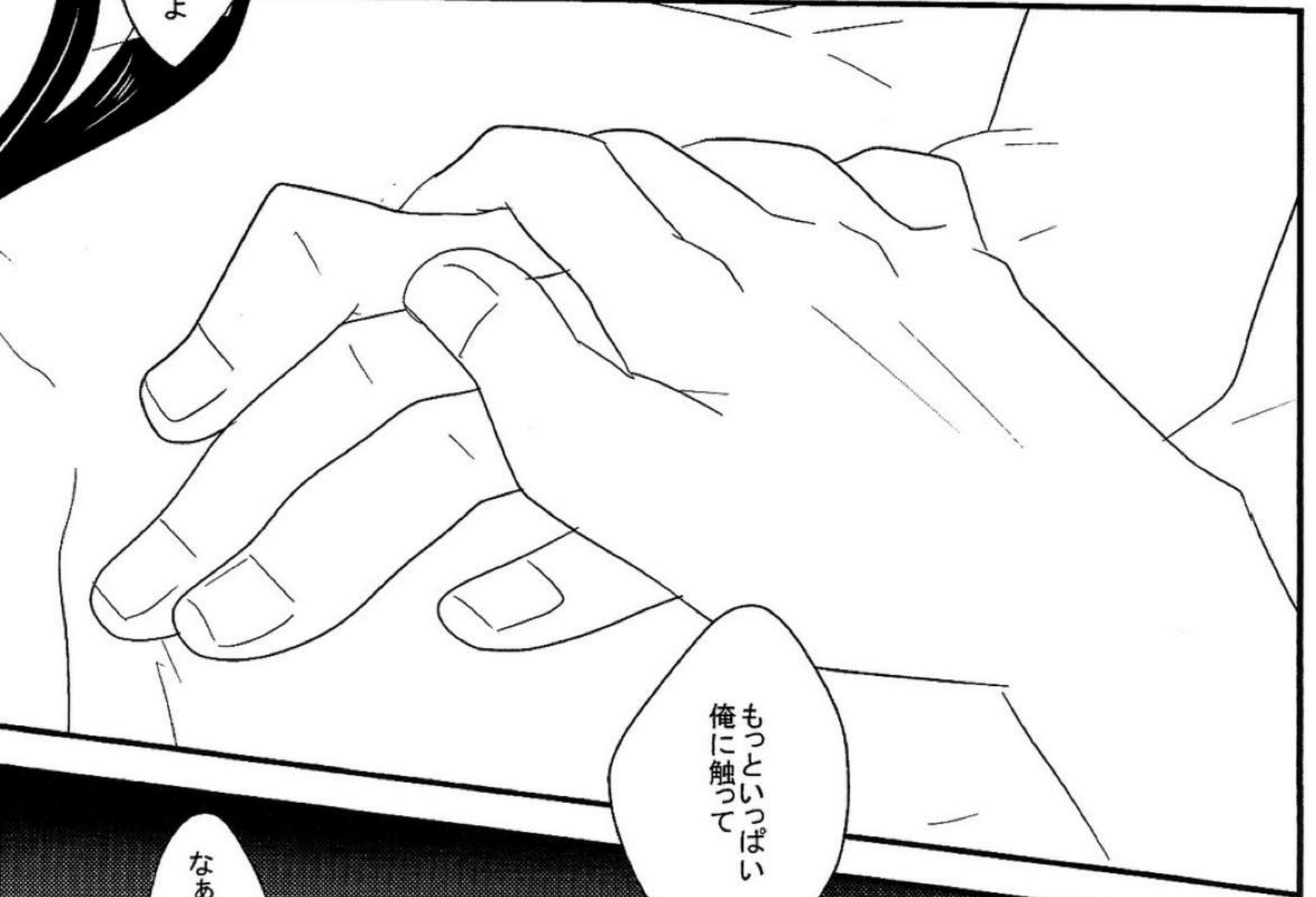
誰かに触ったり
触られたり

そういうの
キモチワルイって
思ってたけど

すごく
気持ちいい



なあ
シンデレラ
ド



もじとじと
俺に
触って

なあ…



SELFISH!



シンドバッド×ジュダル R18

magi fan book No.3